

R 1 年 5 月

自己評価・外部評価 評価表

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
I 構造評価 (Structure) [適切な事業運営]									
(1) 理念の明確化									
①	サービスの踏まえた理念の明確化	1	当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている	○				<ul style="list-style-type: none"> 当社の理念を徹底的に「掲げ」ている。 サポートセンター独自の年間目標を掲げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 理念をもとに、実行性を高め下さい。
(2) 適切な人材の育成									
①	専門技術の向上のため取り組み	2	管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している	○				<ul style="list-style-type: none"> 認識は十分出来ている。 事務所内に、「掲げ」日常目にする「ことが」できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 新人職員に、周知できるように指導して下さい。
		3	運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している	○				<ul style="list-style-type: none"> 勉強会への参加を行っている。(1年間に12回) 新人教育では、十分な同行実習を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 法人外等、機会があったら是非研修に行ってみて下さい。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	4	管理者は、サービスの提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している	○				・管理者会議・リーダー会議での意見をもちに職員配置を行っている。	
②	介護職・看護職間の相互理解を深めるための機会の確保	5	介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている	○				・利用者の状態は、日々変化しますので、対応がすぐ出来るよう、今後も情報共有の機会を持つて下さい。	
(3) 適切な組織体制の構築									
①	組織マネジメントの取り組み	6	利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている	○				・有資格者・経験年数を考慮した人材配置となっている。	・随時対応・突発的な対応もできるようなシステムを構築してほしいと思います。
②	介護・医療連携推進会議で得られた適意見等の適切な反映	7	介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている	○				・利用者からの意見を「リーダー会議で」取り上げ改善に向けている。	・利用者の満足度はとても高いと思います。
								・貴重な利用者からの要望を検討し改善方向で「お願い」します。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(4) 適切な情報提供・共有のための基盤整備									
①	利用者等の状況に係る情報の随時更新・共有のための環境整備	8	利用者等の状況について、(個人情報管理に配慮した上で)必要に応じて関係者間で迅速に共有できている	○				利用者の状態変化においては、家族・ケアマネージャー・関係部署へ即連絡を入れている。	個人情報の取り扱いには注意が必要です。
(5) 安全管理の徹底									
①	職員の安全管理	9	サービス提供に係る職員の安全確保や災害時の緊急体制の構築等ため、事業所において具体的な対策が講じられている(交通安全、夜間訪問時の防犯対策、災害時対応等)	○				年2回、消防訓練を実施している。 (火災・自然災害) 建物戸外に、監視カメラを設置している。	交通安全では、対策はとられていますか。 → 運転適正検査を 実施しました。
②	利用者等の個人情報の保護	10	事業所において、利用者等に係る個人情報の適切な取り扱いと保護について具体的な工夫が講じられているとともに、管理者や職員において共有されている	○				守秘義務を徹底している。 カルテを収納する書架に施錠し保管している。	個人情報の取り扱いには注意が必要です。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
II 過程評価 (Process)									
1. 利用者等の特性・変化に応じた専門的なサービス提供									
(1) 利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成									
①	利用者等の24時間から着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11	利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				個性を尊重し、生活リズムに沿ったアセスメントとなるようにしている。	お一人お一人の生活習慣は、様々です。ご希望に沿ったサービスが出来るようです。
		12	介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				円滑に行えている。	アセスメントの共有もよくできていると思う。
②	利用者の心身の機能や維持回復の在宅継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13	利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				利用者と家族の意向を反映した計画作成となっている。	医療・リハビリ・日常生活の充実など、在宅生活に必要不可欠であると思います。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
		14	重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている	○				・在宅生活を送る中で、危険な動作・場所などを把握し、予知することとは大切と考え、計画に、十分取り入れていきたい。	・ハイリスクである事など、ご家族にも伝えて下さい。
(2) 利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し									
①	計画上のサービス提供に限り、必要に応じて、定期的巡回・随時対応サービスの提供	15	計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				・急変（発熱・転倒等）時には、定期巡回のセールス他に随時サービスを自発的に行い対応している。	・対応の柔軟性は、定期巡回のセールスポイントです。
②	継続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16	サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている	○				・モニタリングを行い、サービス内容・回数などの追加・変更を行っている。	・日常の観察と、モニタリングによって柔軟にサービスの変更が必要になってきます。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(3) 介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供									
①	介護職と看護職の相互性を柔軟に生かしたサービスの提供	17	より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有を行っているサービス提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護では、状態観察、清潔保持・体位変換経過報告など、細かい点に注意を払ってもらっています。 次回看護の訪問時、とても助かっています。
②	看護職によるサービスに関する指導、助言	18	看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> 行われている。 	<ul style="list-style-type: none"> 不明な点は、緊急コールを使って頂いても結構です。
(4) 利用者等との情報及び意識の共有									
①	利用者等に該当するサービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19	サービスの開始前に、利用者等の本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている	○				<ul style="list-style-type: none"> 利用者、家族に説明を行っている了解のサインを頂いている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者・家族へ、説明と理解が得られています。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
②	利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20	作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				○	<ul style="list-style-type: none"> わかり易い表現を用い説明を行って下さい。
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○					<ul style="list-style-type: none"> 状態、状況の変化に合わせて、相談や提案を行っている。
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
①	利用者等の状況の変化について、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22	ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービスの提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○					<ul style="list-style-type: none"> ケアマネとの相談、報告は、今後も綿密に行って下さい。
		23	計画の目標達成のため、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている		○				<ul style="list-style-type: none"> 利用者（新規）拡張にもつながるため、地域にも更に目を向けてみて下さい。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				外部評価コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
②	定期的なアセスメントや目標達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24	サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○				<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種との情報の交換が「できる」担当者会議は、とても重要と考える。 <p>外部評価コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も、担当者会議のみでなく、日常も変化があった時には、情報の交換が必要と思います。
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献								
①	利用者の在宅生活の継続に必要な利用者等に対する包括的なサポートの、多職種による検討	25	利用者の在宅生活の継続に必要な、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている (※任意評価項目)	○				<p>外部評価コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険更新時のみでなく、日常の小さな変化でも情報の共有が必要です。
		26	病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている (※任意評価項目)	○				<p>外部評価コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切れ目のないサービスができていないと思います。

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント
				実施状況				
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない	
②	多職種による役割分担及び連携に関する検討と、必要に応じて関係者等への積極的な提案	27	地域における利用者の在宅生活の継続に必要なとなる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(※任意評価項目)	○				コメント ・往診医・訪問看護薬局・病院・ケアサービス訪問リハビリなど、常に連携がとれている。 ・利用者の状態変化に対応したきめ細やかなサービスが出来ていると思います。
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画								
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案								
①	介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等、地域に向けた積極的な情報発信	28	介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○				・地域病院に、議事録やサポート新聞を送付している。 ・構成員の方には、議事録の送付を行っています。
		29	当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている	○				・入居者希望の方の見学時には、わかりやすく説明を行っている。 ・近隣の居宅に声掛け説明などを、また行っていきたいと思います。

タイトル番号	タイトル	項目番号	項目	自己評価				コメント	外部評価コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
①	行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30	行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○					
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				・地域に、広く働きかけを行っていきたい。	
③	暮らしてまちなぎらさくづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている（※任意評価項目）	○				・サ高住のみならず、外部に広く知って頂けるように働きかけていききたい。 ・地域に向けた働きかけが重要でず。	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				コメント	外部評価 コメント
				実施状況					
				できている	ほぼできている	できていないことが多い	全くできていない		
①	サービスの導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・目標に対して、ほぼ目標は達成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度は高いと思います。
②	住宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				<ul style="list-style-type: none"> ・安心した在宅生活が送れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者・ご家族ともに安心した生活が送れていると思います。